

はばたけ

# 光と大地の子

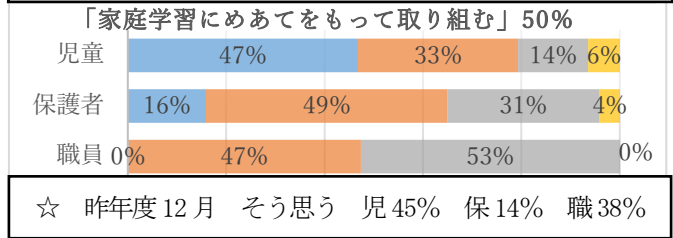
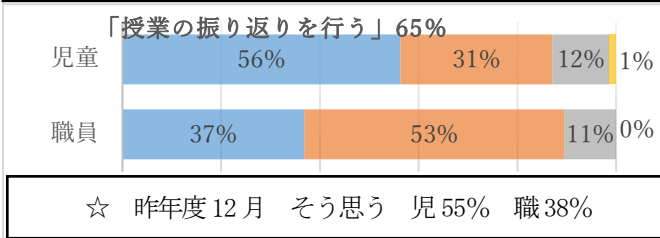
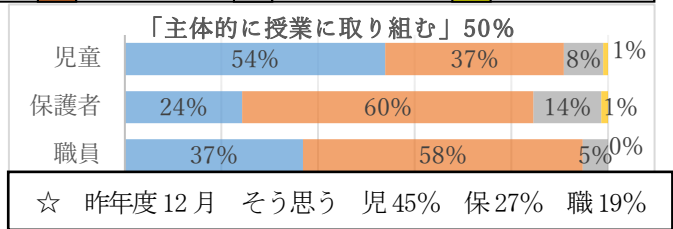
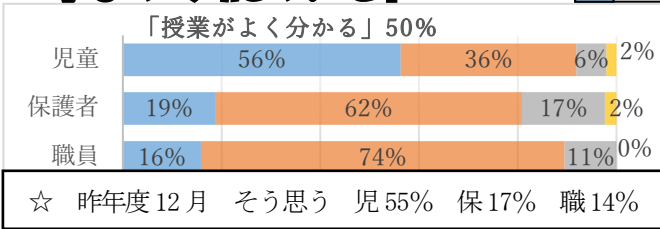
## 浅羽北小学校 教育活動アンケート7月実施結果より

1学期末の教育活動アンケートの結果を報告します。回答結果について、心づくり、学びづくり、体づくりの3観点において、グランドデザインの各観点の数値目標に照らし合わせて説明します。

※各項目の「」右の%はグランドデザインの数値目標です。

### <学びづくりについて>

<input type="checkbox"/>	そう思う	<input type="checkbox"/>	まあそう思う	<input type="checkbox"/>	あまり思わない	<input type="checkbox"/>	そう思わない
--------------------------	------	--------------------------	--------	--------------------------	---------	--------------------------	--------

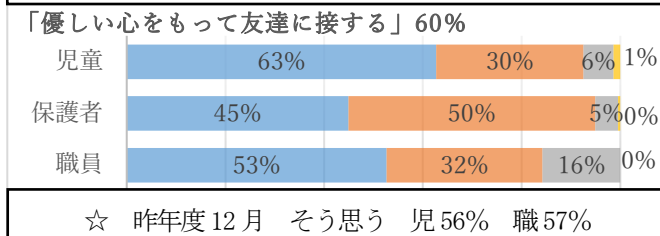
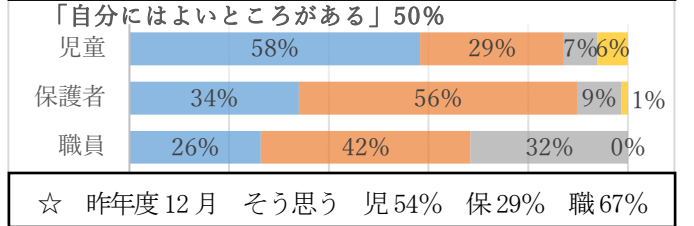
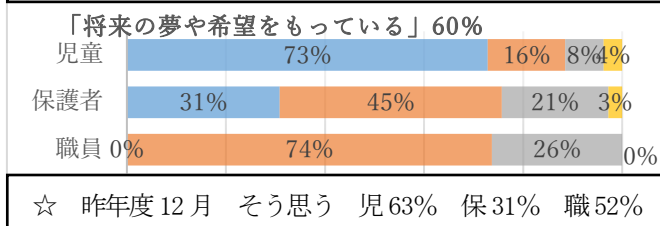
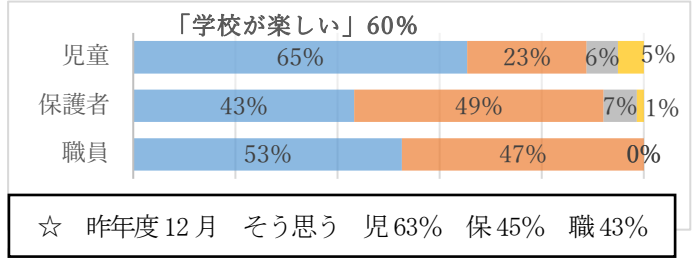
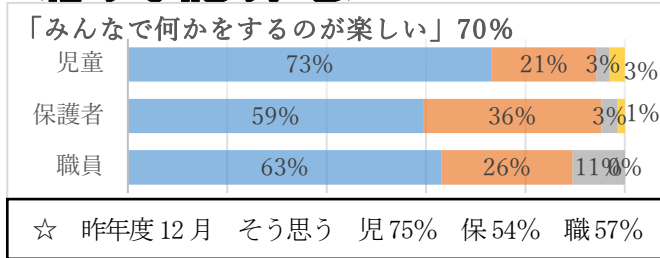


### 【学びづくりの分析】

「主体的な学び」や「伝える力」に目を向け、学びを向上させていきたい。

- 「授業がよく分かる」「主体的に授業に取り組む」は、児童の「そう思う」の数値が、目標値を上回っている。今後はさらに「分かったことを他に伝える力」の向上に目を向け、学びを深めていきたい。
- 「授業の振り返りを行う」は、児童の56%が「そう思う」と答え、前年度に比べ向上している。学習の確実な定着につなげるため、授業の終末での「1時間の学び」を自分の言葉で振り返る活動を引き続き進めていきたい。
- 「家庭学習にめあてをもって取り組む」は、児童の47%が「そう思う」と答え、目標値には届かなかった。自主学習の進め方を提示したり、新聞記事を読み取り記述する学習を取り入れたりし、家庭学習の充実を進めていきたい。
- すべての項目において、児童と職員・保護者の数値に差がある。職員・保護者が児童の学力の向上が実感できるよう、学びの質を高めていきたい。

### <心づくりについて>

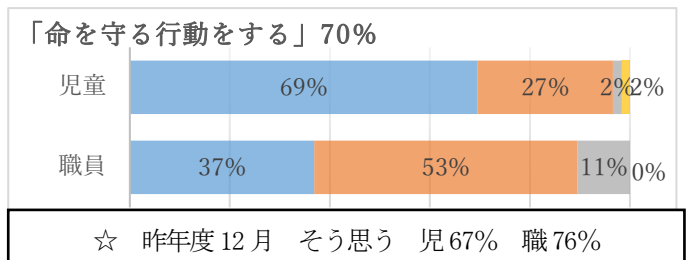
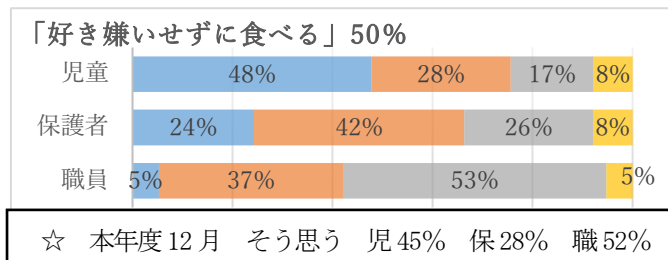
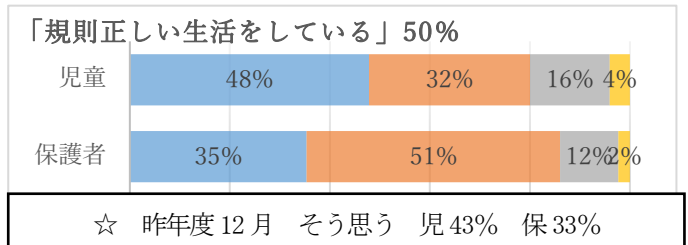
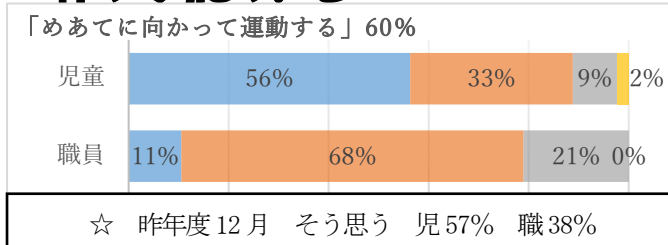


## 【心づくりの分析】

目標値を達成している。今後も児童の自己有用感・自己肯定感や思いやりの気持ちを大切に、指導を進めていきたい。

- 「みんなで何かをするのが楽しい」「学校が楽しい」「優しい心をもって友達に接する」は65%以上の児童が「そう思う」と回答している。学校生活が安定していることが分かる。
- 「将来の夢や希望をもっている」は、73%の児童が「そう思う」と回答している。児童のよい面や頑張りを様々な場面で認め励ますことが「将来の夢や希望を持ち続ける」ことにつながっている。
- 「自分にはよいところがある」は、児童の多くが肯定的な回答をしているが、13%の児童が否定的な回答をしている。「任せて・認める」を継続し、自己有用感・自己肯定感や自主性を育てる指導を様々な場面で行っていきたい。

## <体づくりについて>



## 【体づくりの分析】

ほぼ目標値を達成している。目標達成を目指し、学校と家庭と地域が協力し、児童の基本的な生活習慣や命を守る力を育てていきたい。

- 「めあてに向かって運動する」は、56%の児童が「そう思う」と回答している。体育の授業や光と大地のつどいにおいて、児童がめあてをもって活動できるよう指導の工夫をしていきたい。
- 「規則正しい生活をしている」「好き嫌いせずに食べる」は48%の児童が「そう思う」と回答している。規則正しい生活や食事は、児童の集中力の持続や体調の維持につながるため、家庭と学校が連携し取り組んでいきたい。
- 「命を守る行動をする」は、69%の児童が「そう思う」と回答している。避難訓練の姿から、子供たちの安全への意識は高いと感じる。自分の安全は自分で守るという「実践力」を身に付けさせたい。

## 学校評価の考察を通して、2学期に取り組んでいくこと

○教師が「どうして」「どのように」など、子どもが考えたくなる課題(めあて)を提示する。

○1時間の学びを子どもが自分の言葉でまとめ、学びを振り返る時間を設定する。

○タブレットパソコンを活用し、個に合った学習支援を行う。(ナビマの活用)

○自主学習の進め方を提示したり、新聞記事を読み取り記述する学習を取り入れることで、家庭学習の充実をめざす。

○学校生活の様々な場面で、「任せて・認める」を実践し、子どもが自ら考えたり、企画・運営したいする機会を意図的・計画的に設計、子どもの自主性を育てる。